

ひめじ Himeji



令和8年第1回姫路市議会定例会の概要

- ・ 2月17日から3月25日まで37日間開催
- ・ 本会議では20人が質問
(代表質疑8人、個人質疑12人)
- ・ 令和8年度一般会計予算などの議案50件を
原案通り議決
- ・ 議員提出議案1件を可決、1件を否決

大野川周辺の桜
(令和7年4月撮影)

第1回定例会

代表質疑



録画中継を視聴できます。

3月2日、3日、4日の3日間にわたり8会派の代表質疑を行い、8年度予算や地域公共交通、渋滞対策などについて活発な議論を展開しました。その一部を紹介します。

予算

持続可能な財政運営を

問 金利上昇や県の財政悪化といった外部リスクがある中、今後の財政運営は。

答 市場金利の上昇に対しては後年度の公債費の増加要因となるため、基金の活用により市債の発行抑制を図る他、交付税措置のある地方債を活用するなど適切な市債マネジメントに努めていく。加えて、産業振興や企業誘致等により税収基盤の強化を図るとともに、社会情勢の変化や市民ニーズを的確に捉え、事業の最適化を進めるなど不断の行財政改革に取り組み、持続可能な財政運営を推進していく。

問 予算編成で廃止・縮小した代表的な事業は。

答 公共施設の最適化の一環で書写の里・美術工芸館を7年度末で閉館することとした。行財政改革の取り組みとして133事業を見直し、効果額は3億9千万円となった。

問 予算の収支不足の原因とその対応は。

答 予算編成において、歳入は欠陥が生じないよう厳正に見積もるが、歳出はある程度ゆとりを持って計上するため、収支不足が発生することとなり、その際は財政調整基金繰入金を充て、収支均衡を図ることとしている。

問 県の財政悪化の影響は。

答 具体的な影響は現時点で確認できないが、投資事業の抑制により、「ひょうごインフラ整備プログラム」に示されている市内の道路や河川の整備事業に遅れが生じることが懸念する。

公共施設

目標達成に覚悟と具体策を

問 本市のレクリエーション施設、博物館系施設のうち6年度決算で赤字の施設数と赤字額は。

答 レクリエーション施設等12施設のうち、入館料等の歳入のあった施設は10施設で、いずれも歳出額が歳入額を上回っており、その差額の合計は約7億2千万円である。

問 策定中の新たな姫路市公共施設等総合管理計画で赤字施設をどのように見直すのか。

答 新計画では、省エネ設備の導入等による維持管理経費の縮減、使用料等の見直しや民間ノウハウを活用した利用者増加による収入増の取り組みを通じて、収支改善に努めていくこととしている。

また、利用率が継続的に低迷する施設や当初の設置目的が市民ニーズとずれている施設等は、廃止も含めた施設の在り方を検討し、公共施設等の最適化を図っていく。

問 公共施設を管理運営する指定管理者の運営評価を「見える化」すべきでは。

議員名(会派)	主な質疑・質問内容
竹尾浩司(市民クラブ)	新年度予算/少子化・子育て支援/若者から選ばれる姫路/子ども若者会議の提言/環境政策/公契約条例/地域コミュニティの維持/音楽のまち・ひめじ/手柄山平和公園/いきいきとくらせる社会
白井義一(公明党)	予算編成/公共施設マネジメント/多文化共生社会の実現/地域公共交通の課題/学校給食無償化/ワールドマスターズゲームズ2027/多様な特性に応じた支援の充実/高齢者の健康と安全を守る
井川一善(自由民主党)	将来を見据えた市政運営のために必要なこととは?令和8年度、清元市長の市政運営と方針について、各局の施策について、進め方及び課題を問う!
三和衛(新生ひめじ)	新年度に向けた市長の考え/令和8年度予算/よりよい教育環境に向けた取組/観光戦略と環境整備/公共施設統廃合の必要性和市民理解の重要性/インフラ整備と市民負担のバランス/命を守る市政
竹中由佳(日本維新の会)	令和8年度当初予算及び今後の財政運営について/少子化対策の在り方と効果検証について/姫カツの進捗状況について/姫路市立高校の開校と教育ビジョン/視覚障害者への支援拡充について
塚本進介(改革無所属の会)	課題解決型行政/市民参画の仕組み/交通不便解消/地域防災とコミュニティ-手柄山周辺再整備/観光戦略プラン-地域内循環/学びの保障(学校統廃合・不登校・生涯学習)/市民実感の政策反映
妻鹿幸二(姫路無所属の会)	健全な財政運営の維持/持続可能な公共施設マネジメント/通学環境の総合的な安全政策/大型投資事業における事後評価の検証と今後の活用/物価高騰等に伴う自治会への助成制度の見直し
金内義和(志政会)	華やかな国際交流と、厳しい市民生活の温度差に対して理解を得る努力について/手柄山平和公園駅開業後の周辺住民の平穏な生活環境と新駅の利便性の両立について

答 施設の所管課が定期的に実地調査し、必要に応じて指定管理者に指導している。これらのモニタリングを基にした評価結果を市ウェブサイトに公表している。評価項目の詳細化については、他都市の取り組みを研究し、効果と課題を分析した上で運用方法を見直し、最適なモニタリングを実施していく。



副市長

今後の方針を明確に

問 副市長3人体制の評価は。行政需要の複雑・多様化に伴い、多岐にわたる分野において迅速かつ高度な判断や調整が求められる行政課題、国や県との連動性の高い事業に対応するため、4年度から副市長を3人体制とした。それぞれが所掌する事業について協議、調整、進捗管理し、市長と状況を共有して事業を迅速かつ着実に推進してきた。

外部人材として登用した副市長には、さまざまな分野で活躍してもらった。国土交通省出身の志々田武幸元副市長には、播磨臨海地域道路整備

や姫路港広畑地区における国際物流ターミナル整備の促進、外務省出身の山田基靖前副市長には、観光産業や子育て、グローバル人材の育成・確保などの国際化の進展にそれぞれ貢献してもらった。

問 任期中で副市長が退任したが、2人体制に戻すのか、3人目を探すのか、特命的事案対応の枠として残しておくのか、今後の方針は。

答 迅速かつ高度な判断や調整が求められる行政課題が増加している現状から、3人体制を基本に考えているが、国や県との調整が必要な事業の進捗状況などを踏まえ、慎重に検討を進めていきたい。



地域公共交通

交通先進都市への飛躍を

問 自動運転バス導入の取り組み状況と今後の見通しは。

答 自動運転バスは、他都市の実証実験において安全性や事故が発生した場合の責任の所在の他、費用対効果の課題が解決していないため、国、県の動向や他都市の状況を注視しているところである。

問 公共交通空白地域対策のタクシー事業の不便地域への横展開は、どのように進めるのか。

答 デマンド型乗り合いタクシーを2年から花田町高木地域で本格運行した。利用者数は順調に推移し、地域住民の移動の足として定着している。現在、郊外部10地域の人口分布や人口動態、既存公共交通の状況、主要施設の配置などの現状を調査している。今後は、目的地などの利用者ニーズの把握に努め、当該地域にふさわしい交通手段を地域住民と共に検討していく。その際には、花田町高木地域での導入経験を有効活用できると考えている。

問 DX（デジタルトランスフォーメーション）による利便性向上は。

答 8年度はバス事業者の車載器の更新に合わせ、他の公共交通機関からの乗り継ぎを円滑にするため、バス事業者が実施するキャッシュレス決済の環境整備を支援していく。このことで路線バスなど公共交通の利便性が向上すると考えている。



花田地区デマンド型乗り合いタクシー

デジタル技術

市民の利便性向上のために

問 「書かない窓口」システムによる業務効率化の見通しと導入拡大の方向性は。

答 本庁舎での導入から1年以上が経過し、市民の手書き負担の軽減、データ連携による業務効率化で職員の業務負担の軽減および住民票データの仕上がり時間の短縮が図られている。

8年度は、受付件数の多い駅前市役所や飾磨支所などの出先事務所に拡大する。市民局での利用実績を踏まえ、他部局への展開の可能性を検討

したい。
問 「待たない窓口」についてはどうか。

答 8年2月に駅前市役所と障害福祉課で窓口予約システムの発券機能サービスを開始し、現在、待ち時間や手続きにかかる時間等のデータを収集している段階である。今後、システムの導入に向け、来庁人数が集中する混雑時間帯や繁忙期等を分析し、来庁者の平準化を図る取り組みを進めていく。

先行導入している自治体では、平均待ち時間を約80%短縮した事例があり、本市でも同等の効果を見込んでいる。8年度は、住民窓口センターに導入を予定しており、これらの効果を検証した上で、全庁展開も検討したい。

問 庁内の生成AI（人工知能）の活用は。

答 6年7月にインターネット系の生成AIを導入し、議事録要約やプログラム作成に活用しているが、利用可能な職員が限定されるため、今後アカウント数の拡充を予定している。また、8年3月に行政専用ネットワークで利用できる生成AIを導入し、全職員が利用可能な環境を整備す

る。これら2種類の生成AIを活用し、市民の利便性向上と業務効率化を推進していく。

渋滞対策

阿保橋周辺の渋滞解消を

問 阿保橋周辺の渋滞要因は。
答 阿保橋西詰交差点と大日線交差点の信号が近接していることが渋滞の大きな要因である。

問 渋滞対策として市川に新たな橋を設置できないのか。
答 架橋工事が橋へ接続する道路整備に多額の事業費を要することが見込まれるため、事業化は大変困難である。
問 阿保橋西詰交差点への車両流入抑制のため、市川右岸の堤防道路を閉鎖できないのか。
答 堤防道路は沿道利用もあることから、閉鎖は困難な状況である。

問 渋滞解消の取り組みは。
答 堤防道路から阿保橋西詰交差点へ流入する車両を抑制する必要があると考えており、大日線へ誘導するための周辺交差点の改良や、堤防道路の代替となる市川線の整備を進

めるとともに、信号の撤去を含めた交差点の改良を検討していく。

併せて、国道2号拡幅事業の早期完了を県へ要望するとともに、警察などの関係機関と連携し、地元の理解も得ながら渋滞の軽減に努めていく。

観光戦略

観光を都市ブランド戦略に

問 姫路城の入城料改定後の入城者数の予想は。
答 過去の値上げの例を参考に、7年度入城者見込み数の160万人から2割減少の120万人程度を想定している。

減少の主な要因は国内観光客を想定しており、その結果、外国人入城者の割合が相対的に高まると考えている。
問 姫路城を軸とする観光のKPI（重要業績評価指標）はどのように設定するのか。
答 姫路城の入城者数という量だけではなく、宿泊率や観光消費額といった質を重視した多角的な指標を設定するなど、総合的に評価していく。

問 姫路市観光戦略プランの見直しは。

答 次期プランでは、通過型から滞在型への転換に向け「宿泊客」と「高付加価値層」を深掘りする。国内の中高年齢や修学旅行の動向を把握するとともに、インバウンドについて、姫路観光コンベンションビューローが重点市場とする米国、フランス、台湾の市場動向を分析し、戦略へ反映させていく。

また、延べ宿泊者数や観光消費単価、再訪率などを重点項目として設定し、教育旅行誘致の成果も中長期的な指標として検討したい。

問 都市ブランド戦略の再構築とその工程は。
答 夜間観光や観光事業者との連携による体験型メニューの拡充、教育旅行の受け入れなどコンテンツの充実に努め、都市ブランドを向上させたい。

工程については、分析データを活用しながらコンテンツを強化し、戦略的・集中的な広報展開を図っていく。

国際交流

市民の理解を得られるように

問 姉妹城提携で観光客誘致

や国際的認知度の向上にどのような効果があったのか。
答 シェーンブルン宮殿との姉妹城提携でオーストリア政府との関係が構築され、大阪・関西万博に展示されたベーゼンドルフアー社製のグランドピアノの入手につながった。

また、グローバル人材育成を目的に、未来を担う子どもたちの相互派遣による相互理解の促進など、実りある取り組みができていくと認識している。

問 ドイツのノイシュバンシュタイン城との提携協議による費用対効果は。
答 当該城とは姉妹城提携を視野に観光やその他の分野でも連携交流を深めていきたいと考えている。

費用対効果については、相互信頼関係の構築や経済観光交流等による経済効果を得るには一定の時間を要するため、中長期的視点で捉える必要があると認識している。これらの施策は将来の本市にとって大きな効果をもたらすものと考えている。

問 華やかな国際交流と厳しい市民生活との温度差をどのように認識しているのか。理解を得るための努力は。

答 国際交流事業は、国際理解や異文化交流の推進、グローバルな視野を持つ人材育成など先行投資の側面があることから、その効果をすぐには実感しにくいものであると認識している。

このため、各種広報媒体を活用した事業の事前周知に努める他、市民が国際交流事業に参画できる機会の創出に努めていく。



ノイシュバンシュタイン城

次の定例会は
6月上旬
 開会予定です

詳しいことは議事課まで
 お問い合わせください

(☎221-2033)

第1回定例会

個人質疑



録画中継を視聴できます。

3月5日、6日の2日間にわたり個人質疑を行い、12人の議員が日本版DBSやスマートフォンの適正使用、災害予防などについて活発な議論を展開しました。その一部を紹介します。

スマートフォン

適正使用の教育と意識啓発を

問 スマートフォン（スマホ）等の適正使用についての啓発と取り組みは。

答 姫路市学習プラットフォーム「魔法スクール姫路城」を導入し、市立中学生が情報モラルについて学べる環境を整備する他、市内の学校を対象としたネットトラブル講座や、オープンスクールなどで講座を実施し、家庭や地域でも啓発活動を展開している。

問 スマホ等の適正使用の推進に関する条例制定の検討は。

答 選択肢の一つと考えられるが、より多くの賛同や実践につながる対応策を検討したい。また「子ども・若者会議」などを通じて、子どもたち自

身がスマホ等の利用について考える機会を提供するとともに、市全体での啓発活動についても検討を進める。

物価高騰対策

市民生活に寄り添った支援を

問 本市の財政力であれば5千円分のプリペイドカード給付の他に、全市民を対象とした、さらなる物価高騰対策ができるのでは。

答 市民生活支援としては補正予算で、省エネ性能の高い家電製品への買い替えを支援する事業費や、市立小中学校給食食材費の高騰に対する公費負担分を計上している。

問 中学校給食を無償化する自治体が増える中、8年度は負担額が1食25円引き上げと

なる。もっと市民に寄り添った予算を編成すべきでは。

答 コメなどの価格上昇に伴い、前年度の単価より1食当たり55円上昇する見込みである。国の無償化施策の対象外のため臨時交付金を活用し、その配分額を踏まえ、一部を公費で負担し、保護者の負担を軽減することとした。

ヘルプマーク

一人一人の理解が進むように

問 ヘルプマークの周知はどのように行っているのか。

答 本市ウェブサイトへの掲載、障害者差別解消法に関するイベントでのチラシや啓発品の配布、庁内でのポスター掲示などを通じて普及啓発活動に取り組んでいる。今後、姫路市公式LINEのデジタル媒体など、さまざまな手段を活用し、より広く周知していく。

問 二個（枚）目のヘルプマークを追加で交付できないのか。

答 ヘルプマークの交付事務は、県の要請により実施している。県内一律の運用となっ

ているため、追加交付を本市単独で判断できないが、市民の要望を県へ伝えたい。



ヘルプマーク

日本版DBS

性犯罪から子どもを守るため

問 「日本版DBS（※）」制度の認定対象となる事業者に係る市の対応方針は。

答 本市が主体となる事業については、国のガイドラインに基づき認定を受けるための手続きを進めていく。

民間事業者が主体となる事業については、認定取得は任意であるが、認定を受けることで信頼性や安全性の向上につながることから、制度の趣旨や社会的意義を理解してもらえらるよう情報提供や相談対応を行っていく。

問 認定申請等のスケジュールは。

答 8年4月に国から制度運用マニュアルが示される予定で、詳細な運用方法に係る部局と協議し、スケジュールを含むルール作りに取り組む。

※日本版DBS：事業者が子どもと接する業務の従事者について、雇い入れや配置転換の際、過去の性犯罪歴の確認をすること

姫路東消防署新築

十分な説明と適正な事務を

問 姫路東消防署新築事に係る実施済みの土壌分析調査の費用を、議会に説明なく契約金額増額の議決更正議案に含めていたことへの認識は。

答 早急に土壌汚染状況調査をすることで事業への影響を最小限に抑え、早期の消防署の完成を優先したため、事前の調査を含めたものとなっているが、総務委員会で十分に説明できていなかった。部局間連携や協議不足なども反省点とし、今後、改善する必要がある。

問 当該工事に係る協議記録や意思決定に関する行政文書が少なく検証困難であるが。

答 当該工事の規模に対し協議記録が不十分なため、今後、十分な協議記録の作成に努め、意思決定の経緯が明らかになるよう努めていく。

基金運用

将来を見据えた財源確保を

問 本市の基金残高と運用方法ごとの内訳は。

答 6年度末の基金残高は770億2653万8千円で、うち預金運用は599億2327万1千円、債券運用は163億3293万3千円である。

基金の運用方針は。

答 地方自治法等で「確実に効果率的に運用しなければならぬ」とされ、元本の「確実性」を最優先事項として国債等の債券で運用している。低金利時代に本市では、国債や県債だけでなく財投機関債でも運用してきた。金利上昇局面の現在、金融機関との連携を密にして、金利動向や新たな金融商品の情報を収集し、財源確保に努めていく。

人口減少社会

周辺部地域に活力を



問 「グリーンファミリー制度（※）」の実績は。

答 移住支援金の交付件数は8年2月末現在23件で、制度の認知度が向上し、郊外部への移住の効果が出現している。今後も大都市圏在住者へのウェブ広告や移住フェアなどで本制度の認知度をさらに高めていく。

問 地域未来投資促進法を活用した工場用地候補地の応募状況は。

答 市内のインターチェンジ周辺で開発可能要件を備える土地の募集について、複数箇所の申し出があり、受け入れる地元の意向を集約しているところである。

※グリーンファミリー制度：均衡ある発展を目指して豊かな自然環境と多様な文化を有する郊外部への移住・定住を支援する総合的な取り組み

高齢者鉄道助成

鉄道利用者への助成復活を

問 高齢者の鉄道助成復活に向けた事業者との協議状況は。

答 IC/OCAカードを買い物など乗車目的以外の利用ができないようにすることを前提に複数回、協議したが、J

R西日本からは、同カードに制限を設けることは困難であるとの回答があり、新たな仕組みの構築に向けた協議を継続している。

問 どのような仕組みを検討しているのか。

答 現在、IC/OCAカードを活用し、鉄道利用の実績に応じてポイントを還元する新たな取り組みを、実証的に始められるようJR西日本との協議を進めている。

新スポーツ施設

世界に誇る施設の活用を

問 ひめじスーパーアリーナ（愛称・大和工業アリーナ姫路）の工事の進捗状況は。

答 現在、内外装・設備の工事等をしており、7年度末の進捗率は約84%を見込んでいます。8年10月の開館に向けて工事は予定通り進んでいる。

問 オープニングイベントや予定される大会は。

答 9月に開館記念式典や市民対象の一般見学会、ロックバンド「November Light（ノーベルブライト）」による公演などを予定してい

議員名（会派）	主な質疑・質問内容
萩原唯典（新生ひめじ）	清元市長2期目最終年にかかる思い／周辺地域の活性化策／学校跡地の利活用－警報発令時の対応／投票率向上に向けた取組／有害鳥獣対策の強化／農業水利施設の維持管理対策
下林崇史（日本維新の会）	消防団装備品改善について／小中学校等の防犯カメラ設置について／市立図書館の防犯対策について／出会いから結婚までの支援について／ヘルプマークについて／職員の人事異動発表について
嶋谷秀樹（姫路無所属の会）	スポーツ行政について／防災・危機管理について／高齢者福祉関連事業の見直しについて
牧野圭輔（改革無所属の会）	混乱が続く副市長人事における清元市長の任命責任／下水道事業／市立高校新校舎整備／土地の取得／戦略的なグローバル事業等の展開と膨らむ市長等の海外出張旅費等／姫路東消防署の整備の問題点
松岡廣幸（志政会）	屋台会館の基礎調査について／家賃「0」の道の駅について／施設のマネジメントについて
三輪敏之（市民クラブ）	農政について－農業従事者減少対策－小規模農家の現状－スマート農業の促進／災害予防－ハザードマップの表すもの－避難誘導のDX促進／消防団について－団員減少がもたらす影響について

る。11月に全日本学生バドミントン大学対抗戦、9年5月にワールドマスターズゲームズ2027関西などの開催を予定しており、引き続き大会誘致に取り組む。

播州屋台会館

祭り文化の継承のために

問 7年12月の「地域文化継承事業に関する基礎調査」の調査結果を受けて、今後の進め方は。

答 当該調査では、祭り文化の保存継承、地域コミュニティの活性化、シビックプライドの醸成など施設の設置目的によっては、引き続き検討を深める必要があるとの結果が出た。

関係者の意見も参考にしながら、祭り文化の保存継承を目的とした施策について、継続的に検討したい。

問 今後、検討や打ち合わせを進めるに当たり、予算を計上しているのか。

答 個別の予算措置はしていないが、8年度予算の範囲内で対応可能である。



消防団

消防団を維持していくために

問 女性消防団員の現状は。

答 平成24年3月から女性消防団員を採用しており、現在21人である。広報や普及啓発災害時の後方支援の活動に従事している。

多様な視点が消防団組織の活性化や地域防災に重要であることから、活動内容の広報を強化し、性別を問わず活動しやすい環境を整えて入団促進を図りたい。

問 消防団活動支援アプリとはどのようなものか。

答 出動指令から出動状況の把握、現場情報の共有、事後処理までの消防団活動を一元管理できるアプリで、令和8年度に運用開始する予定である。消防団活動の「見える化」と事務処理の効率化を図り、団員の負担軽減と迅速な出動体制の構築を目指したい。



災害予防

住民へ迅速に情報提供を

問 ハザードマップの精度向上への取り組みは。

答 本市のハザードマップは、国や県が策定する浸水想定区域図を活用して作成している。近隣自治体との境界も矛盾のない精度の高いものとなっている。

問 避難誘導のDX（デジタルトランスフォーメーション）化は。

答 7年3月に「ひめじ防災Web」をリニューアルし、気象やインフラ情報を一元的にまとめ、大津茂川等の水位も国土交通省「川の防災情報」により、スマートフォンでリアルタイムで閲覧できるよう機能強化を図った。

今後も引き続きデジタルツールの普及啓発を行い、早期の避難行動につながるDX化の推進を図っていく。



リニューアルしたひめじ防災Web

議員名（会派）	主な質疑・質問内容
重田 一政（自由民主党）	ふるさと納税について／子どもの虐待・いじめについて／小学校の登校旗について／カスハラ対策義務化について／「日本版DBS」について／学童保育の待機児童について／立体駐車場について
中西 祥子（公明党）	スマートフォン等の適正使用／子どものいじめ・自殺対策／自校外プール活用事業／シニアカーについて／庁舎内案内表示／姫路フィルムコミッション事業／気象警報の発表区域の分割について
岡部 敦吏（刷新の会）	姫路市の基金の運用について
谷川 真由美（日本共産党議員団）	平和行政のさらなる推進－世界から選ばれる姫路より市民の幸福度アップを－暮らし応援の予算を／教育委員会押しつけの学校統廃合は見直しを／若者の居場所確保を／官製婚活制度は問題ではないか
三浦 充博（日本維新の会）	高齢者バス等優待乗車助成事業の選択肢拡充について／教職員の胃がん検診制度の見直しについて／ひとり親家庭の子どもへの親子交流支援について
西本 眞造（公明党）	マンション区分所有法改正・管理計画認定制度／市営住宅入居時に火災保険等を強く推奨／林業振興／新たな火災原因への取組／消防団員の確保と活動支援／がん検診受診促進／飼い主のいない猫対策

令和8年度予算審査

3月9日、10日に予算決算委員会（全体会）を開催し、各会計の予算について理事者から説明を受けました。11日から13日までおよび16日に各分科会を開催し質疑応答を行い、議案を慎重に審査しました。19日の全体会で各分科会長から分科会での議論について報告され、25日の本会議で8年度の全会計予算を可決しました。

各分科会での議論から、その一部を紹介します。

総務分科会

問 外国人留学生を高等教育機関で短期留学生として受け入れる「留学生受け入れ促進モデル事業」では、どの国から留学生を受け入れるのか。また、予算額1千万円の経費の内容は。

答 ひめじグローバル人材育成コンソーシアムの枠組みの下で関係構築を進める台湾から、5人の留学生の受け入れを想定している。
経費の内容は、留学生の渡航・滞在費や教育機関の受け入れ支援金の他、インターン先の市内企業や留学生のサポート費用、継続的な受け入れや地域定着における課題抽出

と分析調査などに係る経費を見込んでいます。

意見 渡航・滞在費などの予算執行に当たっては、実勢価格を調査し精査されたい。

問 主に各局の理事級職員を対象とする、市を代表して行政執行上必要な外部との交際費150万円の予算額の積算根拠は。

答 庁内の実態調査で、7年度に職員が懇親会の参加費など外部団体との交際に250万円程度を自己負担していることが判明した。このうち円滑な行政運営に資するものとして精査し、積算した結果である。

意見 不適切な支出と疑念を持たれないよう情報公開に加え、支出基準の明確化や審査体制を構築されたい。

文教・子育て分科会

問 （仮称）荒川南小学校に新設する放課後児童クラブの施設の規模は。また今後はどのような方針で整備するのか。

答 10年度開校予定の同小学校には、約80人の児童が利用できる規模の施設を新設する予定である。

今後は新設するのではなく、原則として学校の余裕教室を活用して整備する方針である。

意見 少子化による児童数の減少を踏まえ、積極的に余裕教室を活用し、可能な限り経費削減に努められたい。

問 約560万円の予算をかけてAED（自動体外式除細動器）を設置する市立放課後児童クラブの箇所数を、現在の12カ所から44カ所に拡大するが、地域行事等の際にAEDを必要とするような事態が発生した場合に、同クラブの関係者以外でも使用できるのか。

答 AEDは基本的に同クラブの施設内に設置されているため、閉所中の使用は難しいが、開所中であれば緊急時に使用することができる。
意見 AEDが設置されてい

ることを表示する看板を設置するなど、市民への周知を行うとともに、同クラブの支援員等に対しても緊急時は使用できることを情報共有されたい。

問 8年度から11年度にかけて、設計施工一括方式により小学校23校の給食室に空調設備の設置が予定されているが、整備はいつからか。

答 整備方針はサウンディング型市場調査により、市内事業者等から意見聴取した上で決定するが、現在のところ、整備事業者の決定および設計が8年度下半期となり、整備開始は9年度以降になると見込んでいる。

意見 猛暑による熱中症の危険から給食調理員を守るため、可能な限り早期の整備に努められたい。

厚生分科会

問 電子回覧板やキャッシュレス決済等のデジタル技術導入費用に対し、1件当たり5万円を上限に助成する「自治会活動のデジタル化支援」について、電子回覧板には配信メッセージ数などにより月々

の利用料が発生する場合もあるが、助成対象となるのか。

答 初めてデジタル技術を導入する自治会に対し、その導入費用や当初の利用料を助成するものであり、利用料等の将来的に継続した助成は想定していない。

意見 自治会のデジタル技術導入費用の負担軽減を図ることとは有益な取り組みであるが、継続的な財政支援がなければかえって自治会の財政を圧迫し、運営に支障を来しかねないと思われるため、長期的視点に立った助成事業となるよう事業内容を検討されたい。

問 5歳児健康診査モデル事業の実施体制や実施方法は。

答 実施体制は、就学前後の万全なフォローアップ体制の確立に向け、現段階から教育委員会やこども未来局と協働し、組織横断的な体制を整えている。

実施方法は、対象となる子どもの中から500人を無作為に抽出し、アンケートを行う。その回答の中から専門的な相談や診察が必要と思われる子どもを選定し、希望者と併せて集団検診を実施する二段階方式により行いたい。

意見 課題や効果を十分に検証すること、より実効性のある5歳児健康診査とし、新たに構築するフォローアップ体制につなげることで、子どもと保護者が安心して就学に臨める環境を整備されたい。

経済観光分科会

問 住宅用宅配ボックス設置支援事業について、低価格な商品も販売されているので、補助金額の上限を半減し補助件数を2倍にできないのか。

答 8年度は7年度より300万円増額し、800万円を予算計上している。7年度と同様の補助要件で実施し、補助金額の見直しは、9年度に向けて対応を検討したい。

意見 より多くの市民に同事業を活用してもらうことで宅配ボックスの普及を一層促進し、温室効果ガスの排出削減につなげられたい。

問 豊かな漁村創生支援事業で有機肥料の海底散布場所はどこのように決めるのか。

答 散布場所は、事業主体である漁業者等で構成される活動組織が決定する。7年度に実施した場所での効果の有無

について、活動組織からの報告を検証し必要に応じて助言していきたい。

問 海外姉妹城との交流事業の一環として英国・ウエールズに派遣される市職員の現地での活動は。

答 7年11月の副市長等によるウエールズ訪問を契機に北ウエールズ観光局から、同観光局や観光施設、ホテルなどで働きながら同地方の観光や文化を学んではどうかとの提案があった。

問 海外姉妹城との交流事業の一環として英国・ウエールズに派遣される市職員の現地での活動は。

答 7年11月の副市長等によるウエールズ訪問を契機に北ウエールズ観光局から、同観光局や観光施設、ホテルなどで働きながら同地方の観光や文化を学んではどうかとの提案があった。

この研修を通じて、職員のコミュニケーション能力の向上や国際的な視野を養うとともに、8年6月に開催予定のコンウイ城に架かるつり橋の完成200周年記念イベントなどで、本市の観光や文化などの魅力を発信し、国際交流の懸け橋となる役割を果たしてもらおう。

問 放置自転車対策事業費の歳入が歳入を大幅に上回っているが今後の方針は。

答 歳入となる放置自転車移送保管手数料を6年4月に自転車2500円に、原動機付

建設分科会

き自転車4500円にそれぞれ引き上げた。また、近年の放置自転車の減少から移送に係る業務を縮小し、経費削減に努めている。

意見 姫路駅周辺等の放置禁止区域では駐輪施設が充実してきており、人件費や物価の高騰も踏まえた移送保管手数料のさらなる引き上げも検討されたい。

問 給配水管漏水業務委託について、7年度に実施した市東部区域の調査結果および今後の漏水防止対策は。

答 県が6年度に実施した人工衛星画像を活用した漏水調査で示された約800カ所のうち、市東部区域の約400カ所を7年度に調査した結果漏水が確認されたのは全体の約2割であった。これらの多くは給水管から発生しており、漏水箇所については修理を順次行っている。

今後の漏水防止対策としては、8年度に実施する市西部区域の漏水調査に加え、AI（人工知能）を活用した水道管劣化診断等も利用しながら更新の優先度を決定し、水道施設の更新計画に反映していきたい。

今後の漏水防止対策としては、8年度に実施する市西部区域の漏水調査に加え、AI（人工知能）を活用した水道管劣化診断等も利用しながら更新の優先度を決定し、水道施設の更新計画に反映していきたい。

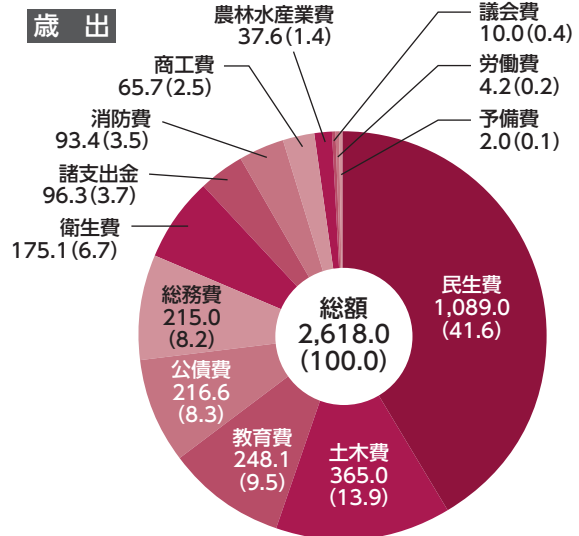
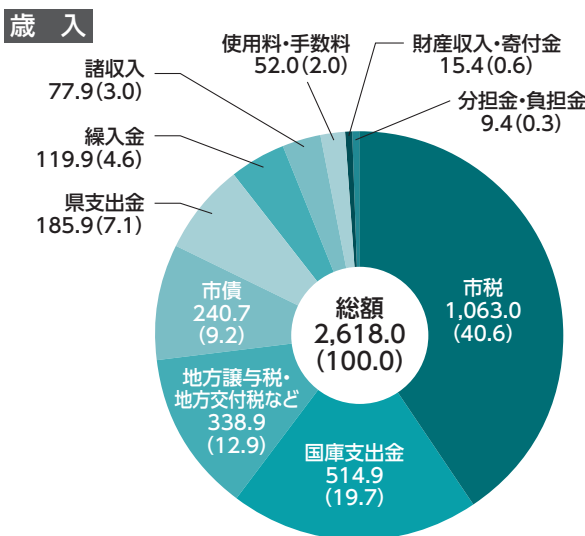
今後の漏水防止対策としては、8年度に実施する市西部区域の漏水調査に加え、AI（人工知能）を活用した水道管劣化診断等も利用しながら更新の優先度を決定し、水道施設の更新計画に反映していきたい。

令和8年度予算

全会計の予算総額:4,370億円(前年度比1.7%増)

一般会計:2,618億円(前年度比1.4%増)

※単位:億円、()は構成比(%)



特別会計(7会計):1,149億円(前年度比1.9%増)

企業会計(2会計):603億円(前年度比2.6%増)

委員会等の活動(1月～3月)

委員会報告

各委員会を定例会中に開催し、それぞれ付託された議案について活発な議論を展開しました。

議案が付託された六つの委員会のうち、予算決算委員会以外の委員会の委員長口頭報告から、主要望事項を紹介しします。

※予算決算委員会に付託された予算議案に関する議論はP8～9の通りです。

総務委員会

①姫路市防災会議条例の一部を改正する条例については、姫路市防災会議の内部機関として部会を設置しようとするもので、8年度には防災・減災対策に女性の視点を反映させるため、女性部会を設置するとのことであるが、プライバシーの欠如や防犯面の不安など阪神・淡路大震災から30年以上経過した今でも、避難所について同じ課題が指摘されていることから、同部会での審議が形式的なものにとどまることなく、多様な視点で

取り入れて、誰もが安心して過ごせる防災体制の再構築を強力に推進されたい。

②ウェルビーイング指標の活用について、市民一人一人の多角的な幸福を実現するための包括的価値であるウェルビーイングの概念を取り入れ、市全体の現状把握や政策の最終的な成果を図る指標として活用を始めているが、当該指標の調査に当たっては、回答者の属性の偏りに留意するとともに、多くのカテゴリーで主観指標が客観指標を下回る傾向にあるが、本市の施策や地域の魅力が十分に伝わっておらず、正しく評価されていない部分もあると思われることから、ターゲット層のライフスタイルに応じた広報媒体の選択に加え、丁寧かつ充実した情報発信を検討されたい。

文教・子育て委員会

①すこやかセンターの廃止に伴う子育て支援施設の代替措置について、同センターの廃止後もファミリーサポートセンター等の事務局機能を確実に維持するとともに、これまで

ですこやかひろばが、多くの子育て世帯に利用されてきた実績を踏まえ、子育て支援体制が弱体化することのないよう十分に配慮されたい。

②市立学校体育館の空調設備の利用料徴収について、8年度から学校教育以外の目的での体育館の空調設備の利用者に対し、1時間当たり500円徴収することであるが、利用時間の自己申告に基づく利用料の徴収は、不適切な申告により公平性が阻害される恐れがあることから、公平公正な利用時間の把握方法を検討されたい。

厚生委員会

①姫路市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定についてマインバーカードの交付申請等の受け付けに関する事務を取り扱う郵便局として、指定済みの姫路郵便局の他に新たに91郵便局を指定するものであるが、姫路郵便局と同範囲の事務を行うのは御着郵便局など6郵便局で、その他は交付申請の受け付けのみのため、住民窓口センター等の混雑緩和の観点から、姫路郵便局と同等の事務を行う郵便局が少

しでも増えるよう日本郵便と交渉を続けられたい。また誤った説明によるトラブルを防ぐため、郵便局職員に対する事前研修を徹底されたい。

②花の北市民広場大ホールの空調設備の故障により、同ホールが8年5月から10月まで使用休止予定であるが、当該空調設備は昨年も故障しており、このままでは廃止する市民会館の代替施設としての役割を果たせないと思われることから、根本的な施設改修計画を検討されたい。

経済観光委員会

①姫路のまちを美しく安全で快適にする条例の一部を改正する条例について、過料の額を2千円以下から2万円以下に引き上げる他、過料徴収の手順について路上喫煙を中止するよう勧告し、その後の命令にも従わない違反者に対し過料を徴収する方法に改めたが、本条例の目的は過料を徴収することではなく路上喫煙の抑制であることから、その趣旨を理解してもらえないよう条例の周知や喫煙マナーの啓発をしっかり行われたい。

②農村地域防災減災事業阿成

井堰改修(その一)工事で使用するために確保していた良質な流用土の管理が不十分であったため一部が使用できなくなり多額の追加経費が必要となったことは非常に不本意であるため、今後は適切な管理にしっかりと努められたい。

建設委員会

①手柄山平和公園の駐車場料金について、現状の1回200円の定額制から利用時間に応じて3時間以内は300円、3～12時間以内は600円、12～24時間以内は900円の3区分の時間制に改定するが、料金改定後も駐車場の利用状況等を把握しながら必要に応じた料金区分の見直し等を行い、利用者の利便性向上に努められたい。

②夜間休日に宅内配管で発生した漏水等の問い合わせ先について、インターネット上にはさまざまな修理業者が掲載されていることから、緊急時に対応を急ぐ市民が悪質業者に付け込まれることがないよう、市ウェブサイトの掲載方法の工夫をはじめ、上下水道局の夜間休日受付窓口の分かりやすい周知に努められたい。

行政視察報告

議会活動の一層の充実を図るため、先進都市の優れた事業などを視察し、まちづくりに役立てていきます。

■自由民主党

1月14日～16日
▽指宿市・カンパチ等の養殖業
▽霧島市・議会改革

■公明党

1月26日～27日
▽武蔵野市・武蔵野プレイス
▽坂戸市・小・中学校での水泳指導の民間委託

■新生ひめじ

1月26日～28日
▽旭川市・いじめ防止対策「旭川モデル」、不登校児童生徒への支援
▽札幌市・「さっぽろヒグマ基本計画2023」を含めた鳥獣対策の取り組み

■日本維新の会

1月27日～28日
▽山口市・コミュニティ・スクール
▽長崎市・議会改革の取り組み

■姫路無所属の会・志政会

1月28日～30日
▽久留米市・入札制度
▽熊本市・水道事業保存工事
▽佐賀市・佐賀市清掃工場

■改革無所属の会

1月29日～30日
▽北九州市・第一交通産業株式会社
▽おでかけ交通事業
▽下関市・うつつい小中学校小規模特認校

■文教・子育て委員会

1月19日～21日
▽川崎市・子どもの権利に関する条例
▽千代田区・教育現場でのAI活用
▽鎌倉市・学びの多様化学校
▽横須賀市・児童相談所

■経済観光委員会

1月22日～23日
▽小樽市・観光の取り組み
▽札幌市・札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」

■厚生委員会

1月29日～30日
▽下関市・下関市における妊娠から子育て期を通じた切れ目のない支援
▽福岡市・福岡市立発達障がい者支援センター（ゆうゆうセンター）、介護スマートDXプロジェクト

■総務委員会

2月2日～3日
▽久留米市・被災者生活再建支援システムの導入、「消防団応援の店」事業
▽宮崎市・宮崎市公民連携総合窓口「みやざきCITY PORT」

■議会運営委員会

2月5日～6日
▽竹富町・竹富町こども議会
▽竹富町女性議会、災害時の議会対応
▽石垣市・本会議のユーチューブ動画配信、新議場の設備

人事（敬称略）

〈固定資産評価審査委員会委員〉
上田 達也

議会の動き

■高校生と座談会で意見交換

7年12月23～25日に高校生と姫路市議会との座談会を開催し、市民からの関心を高めるための広報、移住・定住促進等による人口減少対策、少子化対策、動物愛護の推進、観光戦略、公共交通空白地を生み出さない取り組みについて、意見交換しました。



永年勤続議員表彰

〈15年勤続市議会議員〉

三和 衛
駒田 かつみ
井川 一善
東影 昭
(議席番号順)

■LINEで姫路市議会の情報を発信します

「姫路市LINE公式アカウント」では、会議日程や質疑・質問の内容など市議会の情報をお届けしています。ぜひ友だち追加をお願いします。



■情報公開に努めています

6月30日（火曜日）から、ウェブサイトで7年度の政務活動費収支報告書等を公開します。議会事務局でも閲覧できます。

また、ウェブサイトで議会交際費の執行状況を毎月公開しています。

7年度の支出明細は次の通りです。



7年度 議会交際費支出明細

種類	件数	金額 (円)
慶祝	0	0
弔慰	13	171,650
見舞	0	0
会費	29	286,800
賛助	5	37,689
謝礼	4	43,932
接遇	0	0
雑費	7	109,200
その他	0	0
計	58	649,271

提出議案とその結果（令和8年第1回定例会）

提出議案52件のうち、46件については全会一致で可決、承認または同意しました。
賛否が分かれた議案とその結果は以下の通りです。

賛否が分かれた議案		結果	会派名										
番号	件名		公明	市民	自民	新生	維新	姫路	改革	志政	共産	刷新	無所属
議案第1号	令和8年度姫路市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	×	○	○
議案第4号	令和8年度姫路市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第5号	令和8年度姫路市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第6号	令和8年度姫路市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第27号	姫路市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議員提出議案第1号	姫路市議会議員定数条例の一部を改正する条例について	否決	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×

会派の略称と人数

公明党	公明	8人	改革無所属の会	改革	3人
市民クラブ	市民	8人	志政会	志政	3人
自由民主党	自民	7人	日本共産党議員団	共産	2人
新生ひめじ	新生	5人	刷新の会	刷新	1人
日本維新の会	維新	4人	無所属	無所属	1人
姫路無所属の会	姫路	3人			

※賛否には議長(自由民主党所属)は含まれません。

賛否状況の表記

賛成は「○」、反対は「×」、
会派内で賛否が分かれた場合
等は「※」と表記しています。

すべての議案の結果および
議員ごとの賛否等の状況は
市ウェブサイトでご覧にな
れます。



姫路市議会議員を紹介します vol.11

市民の皆さまの代表として選ばれた市議会議員を紹介します。
今号は次の4人です。議員紹介は今号で終了となります。

- 質問内容 ①自分の性格は？ ②趣味や特技は？
③市民の皆さまへ熱いメッセージを！

三浦 充博 議員 (日本維新の会)



①穏やかで真面目と言われます。学生時代はサッカー部やバスケ部で体育会系
②海釣り。その他、スノーボードはインストラクター資格あり
③スノボの経験を生かして姫路スキー協会のお手伝いをしています。元会社員で電機系エンジニア。皆さんと同じ目線で、おひとりおひとりの話を丁寧に聞いていきます

竹中 隆一 議員 (自由民主党)



①明るく元気がモットー、積極的で探求心旺盛な性格
②旅行や映画鑑賞、文化財の調査研究が趣味
③「困った時は隆ちゃんに」を掲げ、初当選以来43年。常に弱い立場の方に寄り添い、正義の味方として活動しています。アイデアは誰にも負けません

竹中 由佳 議員 (日本維新の会)



①楽観的で立直りが早い
②Kindleでマンガを読むこと、文房具の研究
③東京・海外生活を経て、30歳で生まれ育った姫路にUターンしました。一度地元を離れたからこそ感じる外側から見た姫路、幼少期から見てきた内側からの姫路、両方の価値・視点を大切に故郷姫路を将来世代につないでまいります

谷川 真由美 議員 (日本共産党議員団)



①明るく、正義感が強い
②ガーデニングで庭の花たちを観て、癒されています。音楽鑑賞、夫との旅行
③「憲法守り、女性も障がい者も輝く社会を」が、私の政治信条です。戦争や紛争が絶えない中、「憲法9条」は、世界の宝、希望です。平和であってこそ、全ての人が輝いて生きることが出来ます